

## 1 題材名 銅版画で描く不思議な世界 (版画)

### 2 題材について

版画用のプレス機が置いてある学校が多いが、銅版画は専門的な知識と制作過程の難しさ、大人数で活動するには困難な制作環境から取り扱う学校が少ない。今回この題材を選んだ理由は、取り扱っている学校が少ないからこそ、銅版画についての知識や表現の面白さを生徒に知ってもらいたいと考えた。版画は木版画しか知らない人が多い今日、知識として版画を学ぶだけではなく、実際に銅の版に触れ作品を作る喜びを感じることで、多様な表現方法を学ぶことが大切であると考え、本題材を設定した。

銅版画に表わす「不思議な世界」とは、論理的に説明のつかない世界であり、誰も見たことのない世界である。いわば、想像のつかない世界である。誰にも想像のつかない世界であれば、内容の広がりは無限であり、生徒達なりの不思議な世界を思い思いに表わすことができ、一人一人の個性のある表現の楽しさが味わえるだろう。

本題材は、学習指導要領の「A表現」(1)のA(ア)「対象を深く見詰め感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。」及び「A表現」(2)A(ア)「材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。」と関連付けた。自分自身で考え、形にする力は人生を豊かに生きていくうえで必要な能力である。

しかし、生徒達に単に「不思議な世界を表現しよう」と提案したとしても、戸惑うことが容易に予想される。それは、その不思議な世界という何の手がかりもないところからは、想像もつかず、何をどう表現してよいかかわからない生徒がほとんどであろう。一般的に考えて、言葉だけでの投げかけからは、深く考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることや多様な表現方法を生み出していくことは難しいと考える。

そこで、手立てとして作品鑑賞を通し、多様な表現例を示す。今回は、シュルレアリスムの作品を鑑賞する。シュルレアリスムとは、心理学者のプロイトが考えた理論から出発した運動で、夢の中の画像を使って潜在意識を露出させるというものである。ここではジョアン・ミロ「耕作地」、サルバドール・ダリ「記憶の固執」、ルネ・マグリット「ゴルコンダ」の3点の作品を鑑賞した。これらの奇抜かつメッセージ性の強い作品を味わうことにより、その作風の多様性や技法をとらえることができると考えた。また、自己を見つめ

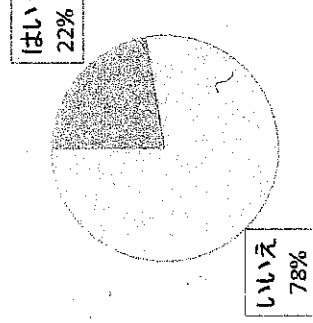
て生じた感情や考えをワークシート等に言葉やスケッチとして書きとどめ、自分自身の考えをまとめ、形にすることで、表現活動の面白さを発見することができるよう指導していきたい。

### 3 市教研究主題との関連

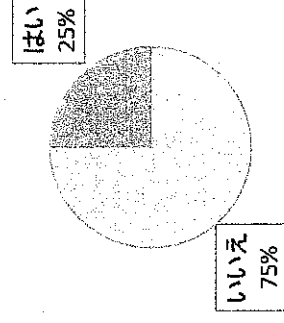
本年度市教研究主題「かかわる つながる つくりだす」の関連として、本時の表現技法の習得によって、自分が気付かなかかった作品のよさや美しさなどの価値を昇華することができ、作品や自分の考えを一層深めることができると考えている。ハッチングや点描等の表現技法を自分の作品につなげることで、作品に対する主題や制作意図を深め、より明確にすることができると考えている。明確になった主題や制作意図は自信になり、生徒自身の力でよりよい作品を作りだすことができると考えている。

### 4 生徒の実態

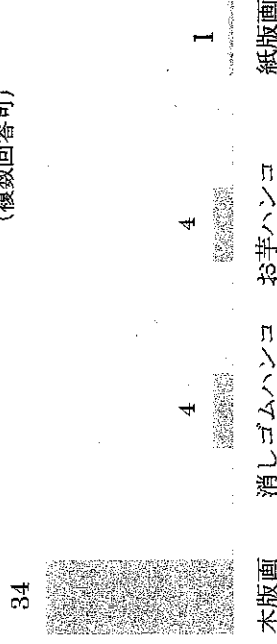
#### 1. 銅版画を知っていますか



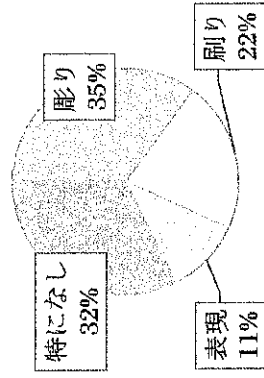
#### 2. 1で「はい」と答えた人 銅版画の作品を見たことはありませんか



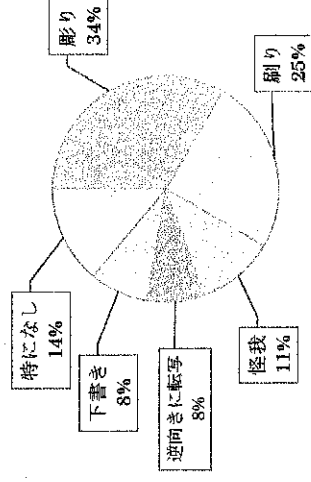
#### 4. 今までにやったことがある版画はなんですか (複数回答可)



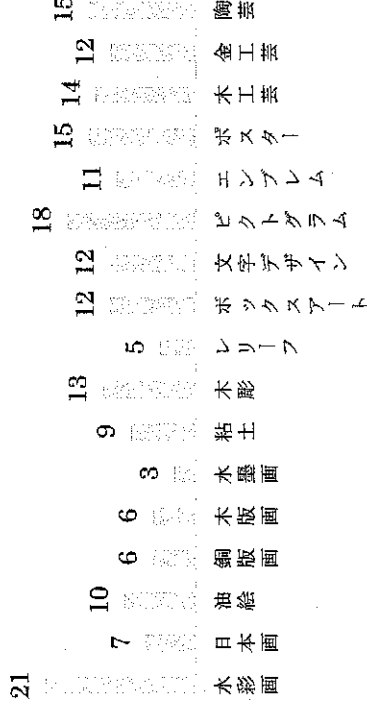
5. 4で上手にできたことはなんですか



6. 4で失敗してしまったことはなんですか



8. 美術に興味がある分野はなんですか (複数回答可)



美術に高い関心があり、積極的に授業に参加することができているクラスである。小学生の時に木版画を制作したことがあると答えた生徒が9割以上にのぼり、版画の基本的な知識を持っていることがうかがえる。しかしその一方、銅版画について知っている生徒は全体の約2割にとどまり、その中でも銅版画の作品を見たことがある生徒は全体で2名しかいなかった。このため、木版画以外の版画を知り、制作する面白さを体感して欲しいという願いから、本題材を設定した。実際に生徒達は銅版画に対して興味を示し、意欲的に制作に取り組んでいる。

過去に制作した版画では彫りや刷りが上手にできた生徒が多い反面、彫りや刷りで失敗してしまったと答えた生徒も約6割にのぼった。これを踏まえ、技能面は実演を交えながら丁寧に説明、指導し、必要に応じて個別に支援していく。また、制作中に怪我をしてしまった生徒もいたため、今回の銅版画では特に安全面を強化する必要がある。具体的には、落ち着いて制作できるための雰囲気作りや、腐食液等の液体を使用の際の換気等を行っていく。

5 評価規準

関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことや発見したことを積極的に発表している。</li> <li>・作品制作に対し、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の内面や願望、夢や想像の世界などを基に主題を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特性を生かし、自分の表現意図に合うような表現方法を工夫し、制作している。</li> <li>・制作の手順を考えながら見通しを持った表現活動をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品のよいところを発見したり感じ取ったりすること、自らの価値意識を高めようとしている。</li> </ul>

※評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特性を生かし、自分の表現意図に合うような表現方法を工夫し制作している。</li> <li>・制作の手順を考えながら見通しを持った表現活動をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の内面や願望、夢や想像の世界などをもとに主題を考えたい。</li> <li>・友人の作品のよいところを発見したり感じ取ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組むこと</li> <li>・気づいたことや発見したことを積極的に発表している。</li> <li>・作品制作に対し、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>

6 指導計画

時	○目標	学習活動	評価の観点		
			関	発	鑑
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○版画の種類を学ぶ。</li> <li>○不思議な世界を制作するにあたり、表現例を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な版画の技法を見る。</li> <li>・シュルレアリスムの作品を鑑賞する。</li> </ul>	○		○
8 本時 (4/8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品のコンセプトや題名を考え、それにあった構想を練る。</li> <li>○銅版画の表現技法であるハッチング(平行な線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のコンセプトと題名を決める。</li> <li>・コンセプトに合った下書きを制作する。</li> <li>・銅版画の表現技法を発見し、</li> </ul>	○	○	○

	を複数描きこむ技法)や点描を用いて、下書きを制作する。【本時】	理解する。また、ハッチングや点描を練習し、美しく描くことができるようになる。			
6	○銅版画の様々な道具や表現方法を試し、楽しみながら実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進度が早い生徒が集まり、各制作方法を教諭の実演を見ながら学ぶ。</li> <li>・銅版にグラウンド(腐食止め)をひく。</li> <li>・下書きを転写し、ニードルでなぞる。</li> <li>・腐食液につける。</li> <li>・インクを詰めて、刷りを行う。</li> <li>・額装する。</li> </ul>	○	○	○
1	○お互いの作品を鑑賞し、自分や他の人の工夫点やよさに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した作品を鑑賞する。</li> <li>・鑑賞カードに、他の生徒の作品のよいところや制作の振り返りを記入する。</li> </ul>	○		○

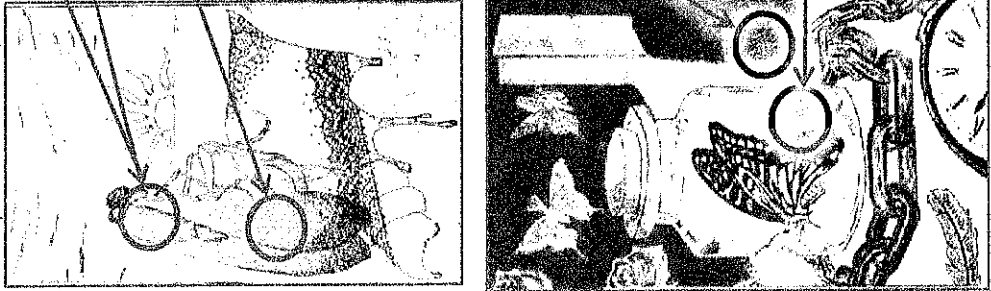
## 7 本時の指導


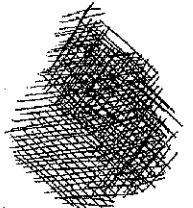
(1)題材名 銅版画で描く不思議な世界

(2)本時の目標

- ① 学んだ表現技法を、積極的に練習することができる。(関心・意欲・態度)
- ② 題材の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を模索し、工夫することができる。(創造的な技能)

(3)展開

過程	学習活動と内容	指導上の配慮事項と評価 (◇)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容を確認する。</li> <li>・本時の学習内容を知る。</li> </ul> <p>【参考作品】</p>  <p>線がクロスしている (クロスハッチング)。</p> <p>点々で描いてある (点描)。</p>	<p>指導上の配慮事項と評価 (◇)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビに銅版画の作品を拡大して投影し、どのような表現技法が使われているのか、生徒に発問することで生徒自身に発見させる。</li> </ul> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャシャシャシャっていう感じ(ハッチング)。</li> <li>・まっすぐな線がいっぱい描いてある (ハッチング)。</li> <li>・ぐるぐるで描いてある。</li> </ul> <p>線がクロスしている (クロスハッチング)。</p> <p>点々で描いてある (点描)。</p>
展開 35分	<p>表現技法「ハッチング」と「クロスハッチング」をマスターしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッチング練習プリントにより、その方法を知る。</li> <li>・テレビの映像を見ながら、ハッチングの練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投影機を使用し、ハッチング等の描き方を実践しながら説明する。</li> </ul>

	<p>・テレビの映像を見ながら、クロスハッチングの練習をする。</p> <p><b>ハッチング</b>          平行な線を丁寧にたくさん描く。線の密度が高ければ黒く、低ければ白に近いグレーになる。</p>  <p><b>クロスハッチング</b>          ハッチングの線の上を交差する線を描く。線の密度が高ければ黒いほど黒くなる。</p> 	<p>◇題材の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を模索し、工夫することができきる。</p> <p><b>【創造的な技能】</b>          評価基準</p> <p>A:ハッチング練習プリントの絵に合った表現技法を使い、丁寧に線を描くことができている。</p> <p>B:ハッチング・クロスハッチングを描くことができている。</p> <p>C:丁寧に線を描くことができている。または未記入。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>・投影機を使い、制作進度が早い生徒2～3人の下書きを見て、自分の作品の参考にする。</p>	<p>・次回からの授業では、制作進度が早い生徒は本時の授業で学んだ表現技法を使い、下書きを完成させる。制作進度が遅い生徒は制作進度が早い生徒の下書きを見ることで、次回からの制作に生かすよう促す。</p>